

補助金チェックシート

作成年度: 令和元年度

1. 補助金の内容

補助金名称	枚方市福祉サービス利用援助事業補助金		
所管部署	福祉部 福祉総務課		
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市福祉サービス利用援助事業補助金交付要項		
交付の目的	認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等のうち判断能力が不十分な方に対して経済生活支援サービスを行い、在宅生活の安定と自立生活の支援、権利擁護を図る体制を整える。		
補助対象経費	事務費(旅費交通費・研修研究費・消耗品費など)。		
補助率・補助額	その他		
交付先	枚方市社会福祉協議会		
開始年度	平成9年度	終期年度	R4年度末(サンセット期日)
補助金性質分類	制度的補助	団体運営補助	事業費補助 ○ その他
法令等での義務付け	なし	法令等名称	

2. 補助金の決算状況等

(千円)			
	H28	H29	H30
予算額	11,032	11,835	12,701
決算額	9,377	9,897	12,701
特定財源	国庫支出金	0	0
	府支出金	0	0
	その他	0	0
一般財源	9,377	9,897	12,701

(件)			
交付実績	H28	H29	H30
	1	1	1

3. 補助金の見直し

①補助金交付の基本的な視点

i 継続の判断(いずれかが不適合の場合は廃止)

視点	チェックポイント	チェック
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓
	ニーズが高い又は高いニーズが見込まれる補助金である。	✓
有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。	✓
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓

ii 補助金制度の検証

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
必要性	調査等により市民のニーズを的確に把握している。又は他市町村でも同様の補助制度が多数存在することを確認している等、ニーズの推定ができています。	✓		
	一定数の交付申請件数がある。	✓		
有効性	補助金交付の具体的な効果測定方法が確保されている。	✓		
	終期設定がされている。	✓		
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓		
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等の妥当性について確認している。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できている。		ホームページに要項を掲載予定。	R2. 4

②補助金性質分類別の視点

事業費補助

該当	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
○	市が公益上必要と認める特定の事業や活動に限定した補助金交付となっている。	✓		
	交付団体の財政状況等を勘案し補助金交付が必要であると客観的に認められる。	✓		

4. 補助金の今後の方向性

方向性	改善して継続
上記方向性を 選択した理由 (「改善して継続の 場合は改善内容」)	社会福祉法や国の通知に基づき、都道府県、指定都市の「社協事業」として、社会福祉協議会でしか実施できない事業となっている。また、今後、高齢者人口が増加する中で権利擁護の取り組みは市民の利益に貢献する極めて公益性も高い不可欠なものであり、継続する。 ホームページに要項を掲載予定。
対応完了・廃止予定時期	R2. 4

補助金チェックシート

作成年度: 令和元年度

1. 補助金の内容

補助金名称	枚方市校区福祉活動推進事業補助金(枚方市小地域ネットワーク活動推進事業補助金)		
所管部署	福祉部 福祉総務課		
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市校区福祉活動推進事業補助金交付要項		
交付の目的	高齢者、障害(児)者、子育て中の親子等の地域で自立生活を行う上で支援を必要とする人々が安心して生活できるよう地域住民の参加と支えあい、助け合い活動を推進する。		
補助対象経費	コミュニティワーカー配置経費、交通費、消耗品費など。		
補助率・補助額	全額補助		
交付先	枚方市社会福祉協議会		
開始年度	平成10年度	終期年度	R4年度末(サンセット期日)
補助金性質分類	制度的補助	団体運営補助	事業費補助 ○ その他
法令等での義務付け	なし	法令等名称	

2. 補助金の決算状況等

(千円)			
	H28	H29	H30
予算額	22,409	31,003	38,421
決算額	22,409	30,973	36,805
特定財源	国庫支出金	0	0
	府支出金	0	0
	その他	0	0
一般財源	22,409	30,973	36,805

(件)			
交付実績	H28	H29	H30
	1	1	1

3. 補助金の見直し

①補助金交付の基本的な視点

i 継続の判断(いずれかが不適合の場合は廃止)

視点	チェックポイント	チェック
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓
	ニーズが高い又は高いニーズが見込まれる補助金である。	✓
有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。	✓
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓

ii 補助金制度の検証

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
必要性	調査等により市民のニーズを的確に把握している。又は他市町村でも同様の補助制度が多数存在することを確認している等、ニーズの推定ができています。	✓		
	一定数の交付申請件数がある。	✓		
有効性	補助金交付の具体的な効果測定方法が確保されている。	✓		
	終期設定がされている。	✓		
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓		
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等の妥当性について確認している。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できている。		ホームページに要項を掲載予定。	R2. 4

②補助金性質分類別の視点

事業費補助

該当	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
○	市が公益上必要と認める特定の事業や活動に限定した補助金交付となっている。	✓		
	交付団体の財政状況等を勘案し補助金交付が必要であると客観的に認められる。	✓		

4. 補助金の今後の方向性

方向性	改善して継続
上記方向性を 選択した理由 (「改善して継続の 場合は改善内容」)	本補助金は地域での福祉活動を支援する目的で支出されており、本市における地域福祉がさらに推進する観点や、府下全ての自治体において同内容で補助が行われている実態にも鑑み、不可欠なものと考えているため、継続する。 ホームページに要項を掲載予定。
対応完了・廃止予定時期	R2. 4

補助金チェックシート

作成年度: 令和元年度

1. 補助金の内容

補助金名称	枚方市献血推進事業補助金		
所管部署	福祉部 福祉総務課		
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市献血推進事業補助金交付要項		
交付の目的	「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」の趣旨を踏まえ、市内における献血の推進と献血思想の普及を目的に関係機関・団体で組織された「献血推進協議会」を中心に各種啓発事業等を行う。		
補助対象経費	人件費、事務費、各校区への助成費。		
補助率・補助額	全額補助		
交付先	枚方市社会福祉協議会		
開始年度	昭和46年度	終期年度	R4年度末(サンセット期日)
補助金性質分類	制度的補助	団体運営補助	事業費補助 ○ その他
法令等での義務付け	なし	法令等名称	

2. 補助金の決算状況等

(千円)

	H28	H29	H30
予算額	4,741	4,740	5,835
決算額	4,657	4,660	5,610
特定財源	国庫支出金	0	0
	府支出金	0	0
	その他	0	0
一般財源	4,657	4,660	5,610

(件)

交付実績	1	1	1
------	---	---	---

3. 補助金の見直し

① 補助金交付の基本的な視点

i 継続の判断(いずれかが不適合の場合は廃止)

視点	チェックポイント	チェック
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓
	ニーズが高い又は高いニーズが見込まれる補助金である。	✓
有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。	✓
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓

ii 補助金制度の検証

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
必要性	調査等により市民のニーズを的確に把握している。又は他市町村でも同様の補助制度が多数存在することを確認している等、ニーズの推定ができています。	✓		
	一定数の交付申請件数がある。	✓		
有効性	補助金交付の具体的な効果測定方法が確保されている。	✓		
	終期設定がされている。	✓		
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓		
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等の妥当性について確認している。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できている。		ホームページに要項を掲載予定。	R2. 4

②補助金性質分類別の視点

事業費補助

該当	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
○	市が公益上必要と認める特定の事業や活動に限定した補助金交付となっている。	✓		
	交付団体の財政状況等を勘案し補助金交付が必要であると客観的に認められる。	✓		

4. 補助金の今後の方向性

方向性	改善して継続
上記方向性を 選択した理由 (「改善して継続の 場合は改善内容」)	医療機関での輸血用血液や血液製剤が慢性的に不足している状況からも、取り組みの廃止や縮小は市民の安全安心を脅かすものであり、むしろ推進していく必要がある。特に、校区で実施している献血の実施にあたっては、当該団体のもつ地域との調整力が不可欠である。今後も法の趣旨に沿って、事業を実施していく。 ホームページに要項を掲載予定。
対応完了・廃止予定時期	R2. 4

補助金チェックシート

作成年度: 令和元年度

1. 補助金の内容

補助金名称	枚方・交野地区更生保護サポートセンター支援補助金		
所管部署	福祉部 福祉総務課		
根拠名称 (交付規則以外)	枚方・交野地区更生保護サポートセンター支援補助金交付要綱		
交付の目的	枚方・交野地区保護司会に対し、枚方・交野地区更生保護サポートセンター支援補助金を交付することにより、更生保護の推進に寄与することを目的とする。		
補助対象経費	枚方・交野地区更生保護サポートセンターの施設の共益費その他の建物の維持管理に要する経費		
補助率・補助額	全額補助		
交付先	枚方・交野地区保護司会		
開始年度	平成25年度	終期年度	R4年度末(サンセット期日)
補助金性質分類	制度的補助	団体運営補助	事業費補助 ○ その他
法令等での義務付け	なし	法令等名称	

2. 補助金の決算状況等

(千円)			
	H28	H29	H30
予算額	909	909	909
決算額	902	902	902
特定財源	国庫支出金	0	0
	府支出金	0	0
	その他	0	0
一般財源	902	902	902

(件)			
交付実績	1	1	1

3. 補助金の見直し

①補助金交付の基本的な視点

i 継続の判断(いずれかが不適合の場合は廃止)

視点	チェックポイント	チェック
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓
	ニーズが高い又は高いニーズが見込まれる補助金である。	✓
有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。	✓
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓

ii 補助金制度の検証

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
必要性	調査等により市民のニーズを的確に把握している。又は他市町村でも同様の補助制度が多数存在することを確認している等、ニーズの推定ができています。	✓		
	一定数の交付申請件数がある。	✓		
有効性	補助金交付の具体的な効果測定方法が確保されている。	✓		
	終期設定がされている。	✓		
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓		
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等の妥当性について確認している。		他市での実施状況や当該事業の実績や経費等からも勘案して、妥当な補助内容と判断しているが、団体に対しては国からの新たな補助制度も創設されており、交付の可否について確認する。	R2. 3
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できている。		国から団体に対する補助制度の適用の可否について確認の上、ホームページに要綱を掲載予定。	R2. 4

②補助金性質分類別の視点

事業費補助

該当	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
○	市が公益上必要と認める特定の事業や活動に限定した補助金交付となっている。	✓		
	交付団体の財政状況等を勘案し補助金交付が必要であると客観的に認められる。	✓		

4. 補助金の今後の方向性

方向性	改善して継続
上記方向性を 選択した理由 (「改善して継続の 場合は改善内容」)	本補助金は枚方・交野地区更生保護サポートセンターを更生保護活動の地域拠点として支援するものであり、安全安心なまちづくりに対し重要な役割を担っていること、広く市民の利益に貢献しているものであるが、現在、国から団体に対する補助制度の適用の可否について確認中であり、その内容も踏まえながら必要に応じて検討を行う。 また、ホームページに要綱を掲載予定。
対応完了・廃止予定時期	R2.4

補助金チェックシート

作成年度: 令和元年度

1. 補助金の内容

補助金名称	枚方市福祉活動・福祉団体等補助金		
所管部署	福祉部 福祉総務課		
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市福祉活動・福祉団体等補助金交付要項		
交付の目的	ひとり暮らし老人会や遺族会、障害者(児)団体等、福祉団体の活動をサポートしている社会福祉協議会を支援することにより、本市の地域福祉の向上に資する。		
補助対象経費	人件費、福祉団体助成金、独居老人会育成助成金など。		
補助率・補助額	その他		
交付先	枚方市社会福祉協議会		
開始年度	平成18年度	終期年度	R4年度末(サンセット期日)
補助金性質分類	制度的補助	団体運営補助	事業費補助 ○ その他
法令等での義務付け	なし	法令等名称	

2. 補助金の決算状況等

(千円)			
	H28	H29	H30
予算額	5,168	5,116	5,921
決算額	5,116	5,098	5,792
特定財源	国庫支出金	0	0
	府支出金	0	0
	その他	0	0
一般財源	5,116	5,098	5,792

(件)			
交付実績	H28	H29	H30
交付実績	1	1	1

3. 補助金の見直し

①補助金交付の基本的な視点

i 継続の判断(いずれかが不適合の場合は廃止)

視点	チェックポイント	チェック
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓
	ニーズが高い又は高いニーズが見込まれる補助金である。	✓
有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。	✓
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓

ii 補助金制度の検証

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
必要性	調査等により市民のニーズを的確に把握している。又は他市町村でも同様の補助制度が多数存在することを確認している等、ニーズの推定ができています。	✓		
	一定数の交付申請件数がある。	✓		
有効性	補助金交付の具体的な効果測定方法が確保されている。	✓		
	終期設定がされている。	✓		
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓		
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等の妥当性について確認している。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できている。		ホームページに要項を掲載予定。	R2. 4

②補助金性質分類別の視点

事業費補助

該当	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
○	市が公益上必要と認める特定の事業や活動に限定した補助金交付となっている。	✓		
	交付団体の財政状況等を勘案し補助金交付が必要であると客観的に認められる。	✓		

4. 補助金の今後の方向性

方向性	改善して継続
上記方向性を 選択した理由 (「改善して継続の 場合は改善内容」)	遺族会やひとり暮らし老人会など、公的な支援を受けることが困難な福祉団体をサポートしている社会福祉協議会を支援するために補助を行うものであり、本補助金を廃止すると、サポートしている各福祉団体の存続に直結することとなるなど、多大な影響を与えるものである。 また、支援している各福祉団体は、「障害者啓発キャンペーン」や「健康・福祉・医療フェスティバル」への参画や協力により福祉に関する市民への啓発活動に深く関わっているなど、本市が取り組む地域福祉の推進にも大きく寄与しているにも鑑みて継続する。 また、ホームページに要綱を掲載予定。
対応完了・廃止予定時期	R2. 4

補助金チェックシート

作成年度: 令和元年度

1. 補助金の内容

補助金名称	民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金会事務補助金		
所管部署	福祉部 福祉総務課		
根拠名称 (交付規則以外)	民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金会事務補助金交付要綱		
交付の目的	本市における民生委員児童委員協議会、日本赤十字社及び共同募金の活動が円滑に行われる環境整備に寄与し、もって社会福祉の増進を図る。		
補助対象経費	人件費、交通費、消耗品費、通信運搬費など。		
補助率・補助額	全額補助		
交付先	枚方市社会福祉協議会		
開始年度	平成15年度	終期年度	R4年度末(サンセット期日)
補助金性質分類	制度的補助	団体運営補助	事業費補助 ○ その他
法令等での義務付け	なし	法令等名称	

2. 補助金の決算状況等

(千円)

	H28	H29	H30
予算額	31,796	31,796	35,320
決算額	31,685	31,694	33,798
特定財源	国庫支出金	0	0
	府支出金	0	0
	その他	0	0
一般財源	31,685	31,694	33,798

(件)

交付実績	1	1	1
------	---	---	---

3. 補助金の見直し

①補助金交付の基本的な視点

i 継続の判断(いずれかが不適合の場合は廃止)

視点	チェックポイント	チェック
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓
	ニーズが高い又は高いニーズが見込まれる補助金である。	✓
有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。	✓
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓

ii 補助金制度の検証

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
必要性	調査等により市民のニーズを的確に把握している。又は他市町村でも同様の補助制度が多数存在することを確認している等、ニーズの推定ができています。	✓		
	一定数の交付申請件数がある。	✓		
有効性	補助金交付の具体的な効果測定方法が確保されている。	✓		
	終期設定がされている。	✓		
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓		
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等の妥当性について確認している。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できている。		ホームページに要綱を掲載予定。	R2. 4

②補助金性質分類別の視点

事業費補助

該当	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
○	市が公益上必要と認める特定の事業や活動に限定した補助金交付となっている。	✓		
	交付団体の財政状況等を勘案し補助金交付が必要であると客観的に認められる。	✓		

4. 補助金の今後の方向性

方向性	改善して継続
上記方向性を 選択した理由 (「改善して継続の 場合は改善内容」)	本補助金は、民生委員児童委員協議会、日本赤十字社及び共同募金の事務局として、各団体の円滑な活動のために重要な役割を果たしていることから、継続とする。 ホームページに要綱を掲載予定。
対応完了・廃止予定時期	R2. 4

補助金チェックシート

作成年度: 令和元年度

1. 補助金の内容

補助金名称	枚方市保護司会運営事務補助金		
所管部署	福祉部 福祉総務課		
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市保護司会運営事務補助金交付要項		
交付の目的	罪を犯した市民の更生援助と犯罪・非行を防止し、地域社会の安全及び住民福祉の向上を図るため、保護司会の活動を補助する。		
補助対象経費	人件費、交通費、消耗品費、通信運搬費など。		
補助率・補助額	全額補助		
交付先	枚方市社会福祉協議会		
開始年度	平成21年度	終期年度	R4年度末(サンセット期日)
補助金性質分類	制度的補助	団体運営補助	事業費補助 ○ その他
法令等での義務付け	なし	法令等名称	

2. 補助金の決算状況等

(千円)			
	H28	H29	H30
予算額	7,728	7,740	8,764
決算額	7,646	7,701	8,395
特定財源	国庫支出金	0	0
	府支出金	0	0
	その他	0	0
一般財源	7,646	7,701	8,395

(件)			
交付実績	H28	H29	H30
	1	1	1

3. 補助金の見直し

① 補助金交付の基本的な視点

i 継続の判断(いずれかが不適合の場合は廃止)

視点	チェックポイント	チェック
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓
	ニーズが高い又は高いニーズが見込まれる補助金である。	✓
有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。	✓
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓

ii 補助金制度の検証

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
必要性	調査等により市民のニーズを的確に把握している。又は他市町村でも同様の補助制度が多数存在することを確認している等、ニーズの推定ができている。	✓		
	一定数の交付申請件数がある。	✓		
有効性	補助金交付の具体的な効果測定方法が確保されている。	✓		
	終期設定がされている。	✓		
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓		
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等の妥当性について確認している。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できている。		ホームページに要項を掲載予定。	R2. 4

②補助金性質分類別の視点

事業費補助

該当	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
○	市が公益上必要と認める特定の事業や活動に限定した補助金交付となっている。	✓		
	交付団体の財政状況等を勘案し補助金交付が必要であると客観的に認められる。	✓		

4. 補助金の今後の方向性

方向性	改善して継続
上記方向性を 選択した理由 (「改善して継続の 場合は改善内容」)	本補助金は更生保護行政の重要な役割を果たすことを目的に交付されており、安全安心なまちづくりに対し重要な役割を担っていることや、広く市民の利益に貢献していることに鑑みて継続する。 また、ホームページに要綱を掲載予定。
対応完了・廃止予定時期	R2. 4